



岡山市長
高谷 茂男

岡山市における「国連ESDの10年」 に関する取り組みについて

持続可能な開発に向けた世界的な取り組みの一つとして、国連が中心となって推進しているESD (Education for Sustainable Development) につきましては、2005年に「国連 持続可能な開発のための教育の10年」(United Nations Decade of Education for Sustainable Development) が提唱されて以来、世界各国で様々な取り組みが進められ、2012年6月に、ブラジルのリオデジャネイロで開催された「リオ+20」において、そのさらなる推進について合意がなされております。

本市では、「国連 持続可能な開発のための教育の10年」の提唱以前から、教育機関や大学、市民団体等の様々な組織が連携し、また、国内外の他地域から多くのことを学びながらESDにつながる様々な活動が活発に行われており、2005年には国連大学から世界最初の「ESDに関する地域の拠点」(Regional Centres of Expertise on Education for Sustainable Development) の一つに認定され、現在、市域の中で、主体的にESDに取り組んでいる組織は130を超えております。

こうした草の根の取り組みが評価され、2012年8月、ユネスコ及び文部科学省から、2014年秋に日本で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」の一環として位置づけられる各種ステークホルダーの開催地に決定されたところであり、本市で開催される具体的な会合の概要が明らかとなる中、2012年11月以降、地域全体で世界会議の運営・支援を行うための核となる組織として分野別の組織を新たに3つ立ち上げるとともに、現在、市内の各地において盛んに行われている環境保全や国際理解、地域活性化・まちづくり、子育て支援活動等についてESDの視点から捉え直し、新たなESD活動につなげていくことで地域全体の理解と活動の一層の促進を図るなど、同会議全体の成功に向けて市民協働で体制整備に取り組んでおります。

本市としましては、一連の取り組みの成果を踏まえて、2014年以降のさらなるESD推進に向けた長期的なモデルを構築し、世界会議や関連国際会議の場で提案するとともに、今後とも、世界会議の開催都市として地域を挙げてESDに取り組み、市民協働で持続可能な社会の実現を目指してまいります。